



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月10日

上場会社名 わらべや日洋ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2918

URL <http://www.warabeya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大友 啓行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 浅野 直 (TEL) 042-345-3131

四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	166,338	2.2	3,939	△3.6	4,281	△1.0	2,559	15.5
29年2月期第3四半期	162,725	2.1	4,088	40.1	4,322	35.0	2,217	1.1

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 2,462百万円 (21.2%) 29年2月期第3四半期 2,032百万円 (△9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	145.97	—
29年2月期第3四半期	126.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	89,277	44,924	50.3
29年2月期	83,877	43,176	51.5

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 44,924百万円 29年2月期 43,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	219,000	2.2	3,700	△9.7	4,000	△7.1	2,350	3.0	134.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	17,625,660株	29年2月期	17,625,660株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	91,000株	29年2月期	87,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	17,536,421株	29年2月期3Q	17,538,113株

(注)当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界では、「安全・安心」を求める消費者意識が高まる中、雇用環境の変化による人手不足・労働コストの上昇などもあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、主力事業である食品関連事業において、セブン-イレブンの出店に伴う納品店舗数の増加などにより売上を拡大し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,663億3千8百万円（前年同期比36億1千3百万円、2.2%増）となりました。

利益面では、材料費や労務費上昇の影響により、営業利益は39億3千9百万円（前年同期比1億4千8百万円、3.6%減）、経常利益は42億8千1百万円（前年同期比4千1百万円、1.0%減）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の減少により、25億5千9百万円（前年同期比3億4千2百万円、15.5%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

[食品関連事業]

納品店舗数の増加により、売上高は1,309億4千万円（前年同期比30億1百万円、2.3%増）となりました。一方、原材料価格上昇の影響などにより、営業利益は34億3千2百万円（前年同期比1億1千万円、3.3%増）にとどまりました。

なお、前期9月から持株会社体制に移行したことに伴い、前第3四半期連結会計期間より、食品関連事業に含まれていたグループ管理費用等を報告セグメントに帰属しない「調整額」として計上する方法に変更しております。

上記、「調整額」に計上したグループ管理費用等は、前第3四半期連結累計期間で1億1千6百万円、当第3四半期連結累計期間で4億4千9百万円となります。

[食材関連事業]

売上高は191億7千万円（前年同期比7千6百万円、0.4%増）とほぼ前期並みとなりました。また、利益率の高い商品の取扱高が増加したことなどにより、営業利益は3億9千万円（前年同期比5千万円、14.8%増）となりました。

[物流関連事業]

セブン-イレブン向け店舗配送の増収率鈍化などにより、売上高は111億3千5百万円（前年同期比4千9百万円、0.4%減）とほぼ前期並みとなりました。また、人件費の増加などにより、営業利益は1億6百万円（前年同期比9千万円、45.9%減）となりました。

[その他]

人材派遣事業が好調だったことにより、売上高は50億9千1百万円（前年同期比5億8千4百万円、13.0%増）、営業利益は4億7千7百万円（前年同期比1億2千2百万円、34.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて53億9千9百万円増加し、892億7千7百万円となりました。これは有形固定資産、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて36億5千2百万円増加し、443億5千3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、リース債務が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて17億4千7百万円増加し、449億2千4百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年10月5日付「平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表した、平成30年2月期通期の連結業績予想を、下記の通り修正します。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	219,600	4,150	4,450	2,500	142.56
今回修正予想(B)	219,000	3,700	4,000	2,350	134.01
増減額(B-A)	△600	△450	△450	△150	
増減率(%)	△0.3	△10.8	△10.1	△6.0	
前期実績	214,305	4,099	4,304	2,281	130.09

(修正の理由)

売上高は、食材関連事業および食品製造設備関連事業において、想定を下回っていることなどを反映し、前回予想から6億円減額します。

利益面では、食品関連事業において、原材料、労務費、水道光熱費などの価格上昇影響が想定を上回ったことにより、前回予想から、営業利益、経常利益を4億5千万円減額します。親会社株主に帰属する当期純利益については、1億5千万円減額します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,937	9,882
受取手形及び売掛金	18,039	19,613
商品及び製品	3,404	3,310
原材料及び貯蔵品	805	1,037
その他	3,356	3,329
貸倒引当金	△226	△412
流動資産合計	36,316	36,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,999	48,036
減価償却累計額	△29,396	△30,374
建物及び構築物(純額)	17,602	17,661
機械装置及び運搬具	18,760	18,474
減価償却累計額	△14,201	△14,521
機械装置及び運搬具(純額)	4,559	3,952
土地	12,315	13,125
建設仮勘定	63	2,514
その他	12,510	14,112
減価償却累計額	△5,624	△6,111
その他(純額)	6,886	8,001
有形固定資産合計	41,427	45,255
無形固定資産		
その他	920	936
無形固定資産合計	920	936
投資その他の資産		
その他	5,330	6,916
貸倒引当金	△116	△591
投資その他の資産合計	5,213	6,324
固定資産合計	47,561	52,516
資産合計	83,877	89,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,380	12,034
1年内返済予定の長期借入金	1,498	586
未払金	9,961	10,033
未払法人税等	475	1,268
賞与引当金	1,160	1,874
役員賞与引当金	-	89
その他	3,184	4,221
流動負債合計	26,660	30,107
固定負債		
長期借入金	2,875	2,435
退職給付に係る負債	2,826	2,766
役員株式給付引当金	78	110
関係会社事業損失引当金	51	-
関係会社債務保証損失引当金	444	-
資産除去債務	1,202	1,168
その他	6,561	7,764
固定負債合計	14,040	14,245
負債合計	40,700	44,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,143	8,143
利益剰余金	26,858	28,713
自己株式	△261	△271
株主資本合計	42,791	44,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161	176
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	137	22
退職給付に係る調整累計額	88	88
その他の包括利益累計額合計	385	288
純資産合計	43,176	44,924
負債純資産合計	83,877	89,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	162,725	166,338
売上原価	138,262	141,689
売上総利益	24,462	24,649
販売費及び一般管理費	20,374	20,709
営業利益	4,088	3,939
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	321	347
受取賃貸料	121	125
その他	101	112
営業外収益合計	552	593
営業外費用		
支払利息	69	82
固定資産除却損	95	61
賃貸収入原価	91	92
その他	62	15
営業外費用合計	318	252
経常利益	4,322	4,281
特別損失		
減損損失	—	420
関係会社貸倒引当金繰入額	211	185
関係会社事業損失引当金繰入額	481	—
特別損失合計	693	606
税金等調整前四半期純利益	3,629	3,675
法人税、住民税及び事業税	1,956	1,717
法人税等調整額	△543	△602
法人税等合計	1,412	1,115
四半期純利益	2,217	2,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,217	2,559

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益	2,217	2,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	15
繰延ヘッジ損益	40	1
為替換算調整勘定	△212	△114
退職給付に係る調整額	△10	△0
その他の包括利益合計	△184	△97
四半期包括利益	2,032	2,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,032	2,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、平成29年4月14日開催の取締役会において、本社移転を決議いたしました。この本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ52百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	127,939	19,094	11,185	158,218	4,506	162,725	—	162,725
セグメント間の内部売上高または振替高	—	1,747	3,011	4,758	10,592	15,350	△15,350	—
計	127,939	20,841	14,196	162,977	15,098	178,076	△15,350	162,725
セグメント利益	3,322	339	196	3,858	355	4,214	△125	4,088

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△125百万円には、セグメント間取引消去△9百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△116百万円が含まれております。なお、第2四半期連結累計期間以前の当社のグループ管理費用等については、持株会社体制への移行前であり、算出等が実務上困難であるため、食品関連事業に算入しております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	130,940	19,170	11,135	161,247	5,091	166,338	—	166,338
セグメント間の内部売上高または振替高	—	2,027	3,043	5,070	11,225	16,296	△16,296	—
計	130,940	21,198	14,179	166,318	16,317	182,635	△16,296	166,338
セグメント利益	3,432	390	106	3,929	477	4,406	△467	3,939

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△467百万円には、セグメント間取引消去△17百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△449百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品関連事業」において、釧路工場が保有する固定資産について収益性の低下がみられたため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては420百万円です。